



簡易取扱説明書

携帯型デジタル簡易無線機

IC-DPR4

PLUS

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。

必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。

無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなりますのでご注意ください。



Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の特長について

- ◎ IP67/IP55/IP54^{★1}の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーカバー、保護カバー装着時に限る)
- ◎ デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
- ◎ 上空用チャンネル(15チャンネル)搭載により、グライダーなど高所での通話ができます。
- ◎ サブチャンネルPTT機能(P.16)搭載により、最大3CH間^{★2}で送受信ができます。
- ◎ チャンネル番号音声案内機能を使用すると、選択した通話チャンネル番号を音声で読み上げます。
- ◎ Bluetooth[®]機能搭載により、VS-3などのBluetooth[®]対応機器を使用できます。^{★3}
- ◎ ポケットビープメロディー機能を使用すると、ポケットビープの代わりとして、メロディーで通知できます。
- ◎ あらかじめ設定した複数のチャンネルを巡回受信できるメモリーチャンネルスキャン機能を装備しています。
- ◎ 個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」、「3S」、「3T」、「3U」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。^{★4}
- ◎ イコライザー機能を使用すると、好みの音質にできます。
- ◎ ノイズキャンセル機能を使用すると、送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音品質を向上させます。

★1 「IP表記について」(「取扱説明書」(PDFファイル))をご覧ください。

★2 サブチャンネル2は、設定したチャンネルに応答する場合だけ送信できます。

★3 IC-DPR4 LITEには、Bluetooth機能が搭載されていません。

★4 AMBE+2TM方式を採用している機種に対応しています。

チャンネルについて

種別	種別コード	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R、3T	82 ^{★5}	陸上、海上
登録局(上空利用)	3S、3U	15 ^{★6}	上空、陸上、海上

★5 CH01～CH14、CH15(呼出CH)、CH16～CH82の82チャンネルです。

CH15(呼出CH)は、陸上、または海上で使用時、通話チャンネルが決まるまでの一時的な呼び出しに使用します。(P.8)

※多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

★6 CH S1～CH S15の15チャンネルです。上空で運用する場合に使用します。

※出荷時の設定では選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.24)

IC-DPR4

1. 電源を入れ、音量を調整する(P.2)

- ① [電源] を押します。
- ② [▼]/[▲] を押して、聞きやすい音量に調整します。

2. 通話チャンネルを合わせる(P.8)

- ① [CH/設定] を短く押して編集モードにします。
※編集モード時は、「」が消灯します。
何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。
- ② [▼]/[▲] を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。
※ [▼]/[▲] を押しつづけると連続動作します。
 - 選択範囲：01～14、16～82、S1～S15★
 - ※相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。
 - ★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。
必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.24)

通話チャンネルが決まっている場合

「呼出CH」に合わせて、呼び出します。

- ※「CH01～CH14」、「呼出CH」、「CH16～CH82」は、上空で使用できません
- ※呼び出し後、通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに切り替えてください。
- ※一時的な呼び出しに使用するため、「呼出CH」ではユーザーコードや秘話機能が使用できません。

3. 自分の音声を送信する(P.8)

- [PTT] を押しながらマイクに向かって通話相手に呼びかけます。
- [PTT] を押しているあいだは、[状態表示] ランプが赤色に点灯します。

4. 相手の音声を受信する(P.8)

- [PTT] をはなして、待ち受け状態にします。
- 受信しているあいだは、[状態表示] ランプが緑色に点灯します。

5. 通話をつづける(P.8)

送信と受信を交互に通話をつづけます。

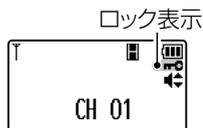


◆ ロック機能(P.14)

[機能/]を長く(約1秒)押します。

●「ビピッ」と鳴って、が表示されます。

※同じ操作をすると、解除できます。



◆ 通話チャンネルに設定できる便利な機能

◎通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82、CH S1～CH S15)には、ユーザーコード、および秘話キーを設定できます。

◎プライベートチャンネル機能(P.23)を使用すると、[プログラム]で「呼出CH」と通話チャンネルを切り替ええます。

◎プライベートチャンネルスキャン機能を使用すると、「呼出CH」と通話チャンネルの通信を交互に受信(監視)できます。

◆ ユーザーコード(UC)について(P.10)

同じユーザーコードを設定する相手とだけ通話できます。

①相手と同じ通話チャンネル(例:CH05)に設定します。

②[機能/]を短く押して、「UC-OFF」表示を選択します。

③[CH/設定]を短く押して編集モードにします。

※編集モード時は、「」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。

④[▼]/[▲]を押して、通話する相手と同じユーザーコード(例:001)を設定します。

※編集モードの状態、[CH/設定]を長く(約1秒)押すと、桁を編集できます。

[CH/設定]を短く押すごとに、編集できる桁が1つ右に移動します。

[機能/]を短く押すと、点灯が変わり、確定します。



◆ 秘話機能について(P.12)

同じ秘話キーを設定する相手とだけ通話できます。

①相手と同じ通話チャンネル(例:CH05)に設定します。

②[機能/]を短く押して、「秘話 OFF」表示を選択します。

③[CH/設定]を短く押して編集モードにします。

④[▼]/[▲]を短く押して、「秘話 ON」表示に切り替えます。

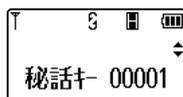
⑤編集モードの状態、[CH/設定]を長く(約1秒)押します。

⑥[▼]/[▲]を押して、通話する相手と同じ秘話キー(5桁)を設定します。

※[CH/設定]を長く(約1秒)押すと、編集できる桁が点滅します。

[CH/設定]を短く押すごとに、編集できる桁が1つ右に移動します。

⑦[機能/]を短く押すと、確定します。



取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」と、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

簡易取扱説明書(本書)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(PDFファイル)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎個別呼び出し機能
- ◎そのほかの機能について
- ◎別売品について
- ◎定格

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社 サポート情報
<https://www.icom.co.jp/support/>



ユーザー登録について

弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力してください。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVSI社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

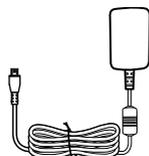
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #8,359,197 and #7,970,606.

はじめに

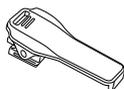
付属品について



バッテリーパック
(BP-304)



AC アダプター
(BC-248)



ベルトクリップ



充電クレードル★
(BC-249)

- 簡易取扱説明書（本書）
- 申請書類一式
- 保証書

★お使いになる製品によっては、充電クレードルが同梱されていない場合がありますが、別売品としてもご用意しています。

使用後はリサイクルへ



Li-ion

この製品は充電式電池使用機器です。

希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。Bluetoothワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。アイコム株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

電波法上のご注意

- ◎無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
- ◎登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
CH01～CH14、CH15(呼出CH)、CH16～CH82は上空での運用はできませんのでご注意ください。
上空で運用する場合は、CH S1～CH S15を使用してください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

電波干渉についてのご注意

Bluetoothの通信では2.4GHz帯の電波を使用するため、次のことから注意してください。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)、および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- ◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えください。
- ◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンター(P.30)までお問い合わせください。

はじめに

防塵/防水性能について

バッテリーカバー、保護カバーを正しく取り付けけた状態で、IP67/IP55/IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着した状態、またはぬれた手でバッテリーカバーや保護カバーを取り付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- -20℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーカバー、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

防水形スピーカーマイクロホン(HM-183LS)を使用したときは、IP67の防塵/防水性能があります。

※ 上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※ バッテリーカバー、保護カバーを無線機に正しく取り付けけた状態で洗浄してください。

※ 常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

◎ 無線機本体、バッテリーカバー、保護カバーが破損している場合

◎ 落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

電磁波ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

- ◎LED照明器具 ◎電磁調理器 ◎給湯器
- ◎自動車に搭載された電子機器 ◎太陽光発電装置

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」 : FHSS方式

「1」 : 想定干渉距離が10m以下

「」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可



安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

◎使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。

◎次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

△警告

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

△注意

これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■無線機本体について

△危険

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。

引火、火災、爆発の原因になります。

△警告

◎民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。

交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。

運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

⚠️ 警告

- ◎ 万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- ◎ アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。
- ◎ 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
- ◎ 電子機器の近く（特に医療機器のある病院内）では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎ 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

⚠️ 注意

- ◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 無線機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となる場合があります。
- ◎ $-20^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- ◎ 指定以外の別売品を使用しないでください。
故障の原因になる場合があります。
- ◎ 電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、ブレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になる場合があります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になる場合があります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

安全上のご注意

■バッテリーパックについて

△危険

- ◎火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。

バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発熱、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。

- ◎次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。
- バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- バッテリーパックは、水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- 弊社指定のACアダプター、充電クレードルでの充電、および本製品の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の機器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。

- ◎バッテリーパックを落下させたり、投げ付けたりして、強い衝撃を与えないでください。

外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発熱の原因になります。

- ◎火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

△警告

- ◎満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。

過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。

- ◎使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱しているなど、異常と感じたときは、使用を中止してください。

使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。

- ◎電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。

破裂、発火や火災、発熱や発熱の原因になります。

- ◎テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。

バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。

⚠ 警告

- ◎ バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎ 指定の充電時間以上、充電しないでください。
指定の充電時間を経過しても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

⚠ 注意

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - 本製品を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
 - $-20 \sim +60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用しないでください。
 - 寒い屋外や冷えた状態で充電しないでください。
 - $0^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で充電しないでください。
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、 (残量あり) の状態を表示 (P.4) するまで使用して、本製品から取りはずし、次の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月 : $-20 \sim +50^{\circ}\text{C}$
約3ヵ月 : $-20 \sim +40^{\circ}\text{C}$
約1年 : $-20 \sim +20^{\circ}\text{C}$

安全上のご注意

■ACアダプター、充電クレードルについて

⚠警告

- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。
 - 弊社指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
 - ACアダプター(付属品: BC-248)、充電クレードル(BC-249)は、本製品の充電以外に使用しないでください。
 - 分解や改造をしないでください。また、ご自分で修理しないでください。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
 - むれた手でACアダプターや充電クレードル、機器には絶対に触れないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 - ACアダプターの充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。
 - 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
すぐにACコンセントからACアダプターを抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げ販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠注意

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
 - 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- ◎ 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
ACアダプター、充電クレードルの火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。

はじめに ————— i

本製品の特長について	i
チャンネルについて	i
取扱説明書の構成について	iv
ユーザー登録について	iv
音声圧縮(符号化)方式について	iv
付属品について	v
登録商標/著作権について	v
電波法上のご注意	vi
電波干渉についてのご注意	vi
防塵/防水性能について	vii
別売品の使用による防塵/防水性能 について	vii
海水が付着したときは?	vii
運転時のご注意	viii
電磁波ノイズについて	viii
2.4GHz現品表示記号の意味について	viii

安全上のご注意 ————— ix

■ 無線機本体について	ix
■ バッテリーパックについて	xi
■ ACアダプター、充電クレードル について	xiii

1. ご使用の前に ————— 1

■ 付属品の取り付けかた	1
■ 別売品を接続するには	2
■ 電源と音量の調整	2
■ 充電のしかた	3
■ 電池の残量表示について	4
■ 電池の残量警告音について	4
■ 充電時間と使用時間の目安	5
■ 正しい充電のために	5
■ バッテリーパックの 特性と寿命について	6
■ バッテリーパックの 膨張について	6

2. 操作方法[基本編] ————— 7

■ 各部の名称	7
■ 表示部	7
■ 通話チャンネルを合わせる	8
■ 自分の音声を送信する	8
■ 相手の音声を受信する	8
■ 通話をつづける	8
■ 通話するときのアドバイス	9

3. 操作方法[応用編] ————— 10

■ ユーザーコードを使用して 通話するには	10
■ 秘話キーを使用して通話するには	12

4. そのほかの機能について 14

■ ロック機能	14
■ 送信出力の切り替え	14
■ VOX機能の使いかた	14
■ 録音機能	15
■ サブチャンネルPTT機能	16
■ ワンタッチアンサー機能	16
■ Bluetooth®の使いかた	17

5. 各種機能の設定 ————— 20

■ 設定モードに移行するには	20
■ 画面下部の表示と実行	20
■ 設定のしかた	21
■ 設定モードの音量調整について	21
■ 設定項目一覧	21

6. ご参考に ————— 27

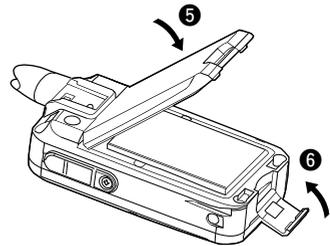
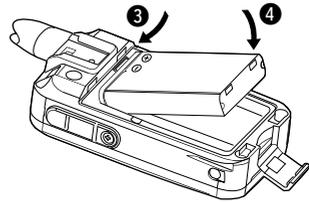
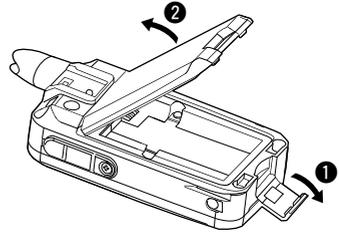
■ 日常のお手入れと点検について	27
■ 初期状態に戻す (リセットするには)	27
■ 故障かな?と思ったら	28
■ アフターサービスについて	30

さくいん ————— 31

■付属品の取り付けかた

【バッテリーパック】

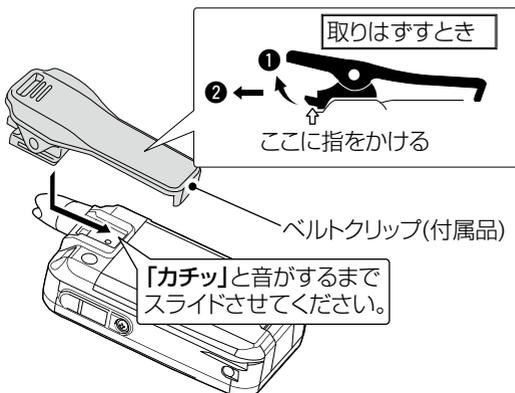
- ① ロック(①)をはずして、バッテリーカバー(②)をはずします。
- ② バッテリーパックの端子の位置を確かめて、バッテリーパックを手順(③、④)のように取り付けます。
- ③ バッテリーカバー(⑤)を取り付けて、すきまができないように押し込み、ロック(⑥)をします。



ご注意

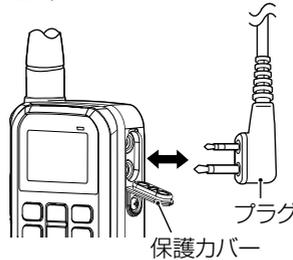
しばらく本製品を使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れます。

【ベルトクリップ】



■別売品を接続するには

- ◎ 接続ケーブルを抜き差しする前に、本製品の電源を切ってください。
 - ◎ プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。
 - ◎ 防塵/防水対応により、差し込み部分がかたくなっていますので、接続するときは、プラグを奥まで確実に差し込んでください。
 - ◎ 無線機本体の防塵/防水性能維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを閉じた状態でご使用ください。
- ※別売品のスピーカーマイクロホンを接続する場合は、設定モードで「イヤホン設定」を「OFF」に変更してください。(P.24)



■電源と音量の調整

【電源の入れかた】

[>]を長く(約3秒)押します。

- [状態表示]ランプが点灯し、「ピー」と鳴ります。

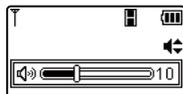


【音量調節のしかた】

[▲]を押すと音量が大きくなり、[▼]を押すと音量が小さくなります。

調整できる範囲は、「0～32」です。

- ※ 音量が最小のときは、キー操作音のピーブ音、通話チャンネル番号案内の音声や受信した音声は聞こえません。



1 ご使用の前に

■充電のしかた

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

◎ 充電中、[状態表示]ランプは黄色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

● 電源を入れて充電しているときは、電池マークがになります。

◎ 下記の動作をしている場合、充電が止まります。

使用しないときは、電源を切って充電してください。

● 音声を受信、または送信しているとき

● キー操作音や録音再生など音を出しているとき

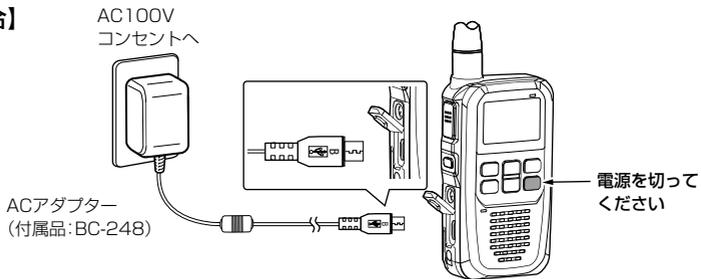
● 緊急呼び出し機能やローンワーカー機能を使用して緊急呼び出しをしたり、受けたりしたとき

◎ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。

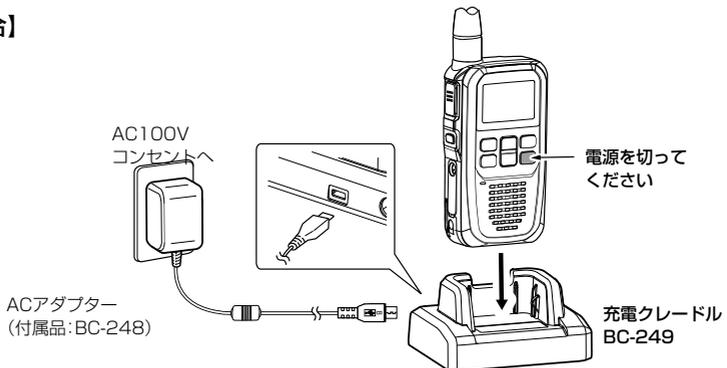
※ 使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、ACアダプター、充電クレードルの故障ではありません。

※ 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

【BC-248の場合】



【BC-249の場合】



△危険

- ◎ 充電するときは、必ず本製品に対応したACアダプター、充電クレードルをご使用ください。
- ◎ 「安全上のご注意」(P.ix)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

ご注意

- ◎ 金属や導電性のあるもので充電端子間をショートさせるなど定格電流を超えた場合、充電クレードルの保護装置が動作し、充電できなくなります。
このような場合、ACアダプターを抜き差しすると、充電が再開します。
- ◎ 満充電に近い状態では充電動作に入らないため、電池残量が (十分)のときに充電しないことがあります。
- ◎ 「故障かな?と思ったら」(P.29)もご確認ください。

■電池の残量表示について

電池の残量が少なくなると、電池マークが点滅し、極端に少なくなると「電源 OFF」を点滅表示して、電源が切れます。

※ 残量が少なくなったら、バッテリーパックを充電してください。



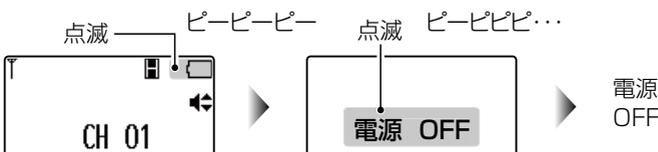
■電池の残量警告音について

残量が点滅表示になると、警告音が「ピーピーピー」と、約30秒ごとに鳴ります。

警告音が鳴り出したら、すぐに充電してください。

※ 点滅表示の状態で使用をつづけると、警告音が「ピーピピピ…」と2秒間鳴りつづけたあと、無線機の電源が自動的に切れます。

【電池残量が極端に少ないとき】



1 ご使用の前に

■充電時間と使用時間の目安

ご使用になる充電クレードル、ACアダプターによって、充電時間が異なります。

名 称		BP-304				
定 格 項 目						
電池の種類		リチウムイオン				
電池の容量		1881mAh min. / 1900mAh typ.				
出力電圧		3.7V				
寸 法		55.6×35.0×10.7 〈条件〉突起物は含まず/〈単位〉mm				
使 用 時 間	Bluetooth*	OFF		ON		
	パワーセーブ	OFF	ON	OFF	ON	
	送 信 出 力	2W	約9時間	約10.5時間	約8.5時間	約10時間
		1W	約10時間	約12時間	約9.5時間	約11.5時間
		0.5W	約11.5時間	約13.5時間	約11時間	約13時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用						
充電時間		ACアダプター (BC-248)使用時 : 約4時間 ACアダプター (BC-248)+ 充電クレードル(BC-249)使用時 : 約5時間 ※BC-249を使用すると、充電時間が長くなります。				

★Bluetooth搭載版のみ

※ 出荷時、パワーセーブ機能(P.24)は、「OFF」に設定されています。

※ バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■正しい充電のために

◎ バッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電ができます。

なお、満充電した直後に再充電しないでください。

◎ 満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。

長期間バッテリーパックを保管する場合は、残量表示が  (残量あり)の状態になるまで使用し、無線機からバッテリーパックを取りはずして保管してください。

◎ 充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがありますので、乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。

■バッテリーパックの特性と寿命について

◎バッテリーパックは、消耗品です。

充電できる回数は、300回～500回が目安です。

充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。

◎発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。

◎使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。

◎劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。

◎充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

■バッテリーパックの膨張について

下記のような環境や条件で使用をつけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

◎ひんぱんに充電している

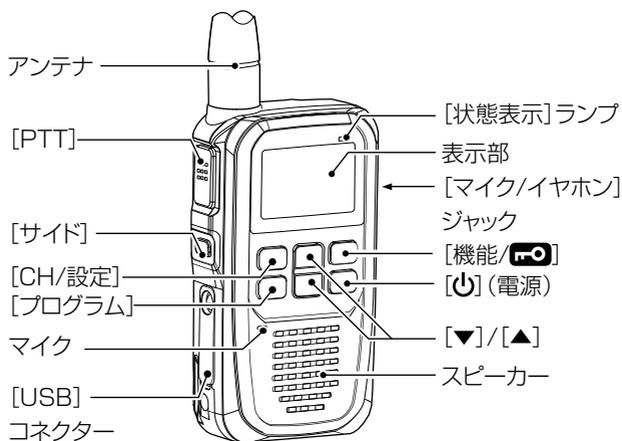
◎満充電直後でも再充電している

◎高温な場所で使用・保管している

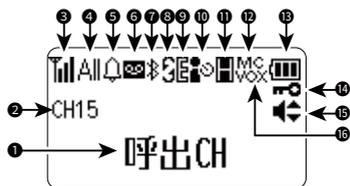
◎本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命です。使用を中止し、新しいものと交換してください。

■各部の名称



■表示部



- ① 音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードなどを表示
- ② 通話チャンネル、または着信などの状態を表示
- ③ 受信している電波の強さを4段階で表示

 無* 弱 中 強
 ★待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。
- ④ 呼び出しモードを表示
- ⑤ 点滅：通話相手からユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出しを受けたとき
 点灯：ポケットビープ機能が「OFF」以外、かつ個別呼び出し機能、またはユーザーコード機能が「ON」のとき
- ⑥ 録音データ状態、録音動作状態を表示
- ⑦ 点灯：Bluetooth機能が「ON」のとき*
- ⑧ 点灯：秘話機能が「ON」のとき
- ⑨ 点灯：[プログラム]の長押しに「エマージェンシー」が割り当てされているとき
- ⑩ 点灯：ローンワーカー機能が「ON」のとき
- ⑪ 各通話チャンネルの送信出力の設定状態を表示
- ⑫ MC :メモリーチャンネルスキャン中
 PRI :プライベートチャンネルスキャン中
 SUB:サブチャンネルスキャン中
- ⑬ 電池残量を4段階で表示
- ⑭ 点灯：ロック機能が「ON」のとき
- ⑮ 音量変更モード、編集モードを表示
- ⑯ 点灯：VOX機能が「OFF」以外のとき

★Bluetooth搭載版のみ

■通話チャンネルを合わせる

① [CH/設定] を短く押して編集モードにします。

※編集モード時は、「」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。

② [▼]/[▲] を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。

※[▼]/[▲] を押しつづけると連続動作します。

※陸上/海上で運用する場合は「CH01～CH14」、「CH15(呼出CH)」、「CH16～CH82」、上空で運用する場合は「CH S1～CH S15」*を使用してください。

★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.24)

【通話チャンネルが決まっていない場合】

「呼出CH」に合わせます。

「呼出CH」は、一時的な呼び出しにだけ使用しますので、グループ通話、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに変更してから通話してください。

■自分の音声を送信する

[PTT] を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT] を押ししているあいだは、送信状態となり、[状態表示] が赤色に点灯します。

【マイクの使いかた】

マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

[状態表示] ランプ
が赤色に点灯

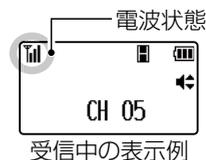


■相手の音声を受信する

[PTT] をはなすと待ち受け状態になり、相手局が送信すれば、受信した相手の音声がかかります。

受信中は、[状態表示] ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示] ランプが消灯しています。



■通話をつづける

相手が送信しているときは、[PTT] を押ししても混信防止機能が動作して、「プップツ…」と鳴りつづけ、送信できません。

相手の通話が終了してから、送信してください。

※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

2 操作方法【基本編】

■通話するときのアドバイス

1.送信時間制限について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。制限時間の10秒前になると、「ピツ」と鳴ります。

連続通話時間が5分になると、警告音が「ブツ」と鳴って、自動的に送信を停止します。

停止後、1分間は、送信することができません。

通話を再開する場合は、1分後に[PTT]を押してください。

2.混信防止(キャリアセンス)機能について

無線局の運用では、自分が送信中に、ほかの人が同じ通話チャンネルで送信すると、混信を受け通話ができないことがあります。

また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。

3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。

なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがあります。故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

3.電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。

このような混信は、グループごとに[通話チャンネル]の組み合わせを適切に設定することで防止できます。

4.通話範囲について

通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なります。

詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

※山や建物などが障害物となって、通話しにくくなることがあります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

※テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

5.パワーセーブ機能について

何も操作しない(受信もしない)状態が10秒を超えると、自動的に無線機本体の動作を休止状態にし、電池の消耗を抑えます。

※工場出荷時や全設定初期化時、設定されていません。

必要に応じて、設定モード(P.24)で設定してください。

※着呼率を著しく低下させるため、個別呼び出し機能(P.22)との併用を制限しています。

※サブチャンネルPTT機能(P.16)との併用できません。

本製品には3つの通信方式がありますので、ご利用になるエリアや目的に応じて設定してください。

◎ユーザーコード

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。

ほかの人の音声を聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くとときに使用します。

※通話チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。

◎秘話機能(P.12)

秘話機能を設定すると、通話内容が傍受されるのを防止できます。

特定の相手にだけ音声を送信するときに使用します。

※通話チャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。

◎個別呼び出し

詳細な設定をすることで「全局呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」を構成できます。

※弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

3

■ユーザーコードを使用して通話するには

1.通話チャンネルを合わせる

- ① [CH/設定] を短く押して編集モードにします。

※編集モード時は、「」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくとき、「」が点灯して、編集モードが解除されます。

- ② [▼]/[▲] を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

● 選択範囲：01～14、16～82、S1～S15*

★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.24)



通話チャンネル表示
(表示例：CH05)

2.UC(ユーザーコード)表示にする

[機能/

- [機能/

※何も操作していない状態が約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。



3 操作方法【応用編】

3. ユーザーコードを設定する

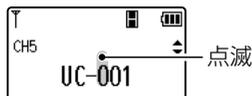
- ① [CH/設定] を短く押しして編集モードにします。
- ② [▼]/[▲] を押しして、通話する相手と同じユーザーコード(例:001)を設定します。

● 選択範囲：OFF(000)、001～511

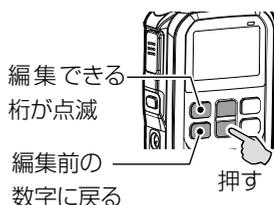
【編集できる桁を変更するには】

- ① 編集モードの状態では、[CH/設定] を長く(約1秒)押しします。
 - 編集できる桁が点滅します。

※ [CH/設定] を短く押すごとに、編集できる桁が移動します。



- ② [▼]/[▲] を押しして、ユーザーコードを選択します。
 - ※ [プログラム] を押すと、編集前の数字に戻ります。
 - ③ 内容を確認するときは、[機能/] を短く押す、または [CH/設定] を長く(約1秒)押しします。
 - 桁の点滅が点灯に変わります。
- ※ 約10秒後、通話チャンネル表示に切り替わります。



4. 自分の音声を送信する

[PTT] を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT] を押ししているあいだは、送信状態になり、[状態表示] ランプが赤色に点灯します。

※ 設定したユーザーコードは、通話チャンネル(例:CH05)の右側に表示(例:UC-001)されます。

ユーザーコード表示



[状態表示] ランプが赤色に点灯



5. 相手の音声を受信する

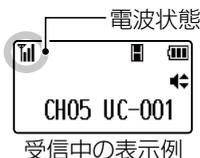
[PTT] をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ通話チャンネルとユーザーコードで通話する相手局の音声を受信できます。

受信中は、[状態表示] ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示] ランプが消灯しています。

【受信中の表示例】

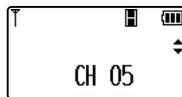
ユーザーコードが異なる誰かの電波を受信しているときも、[状態表示] が緑色に点灯し、電波状態を表示します。



■秘話キーを使用して通話するには

1.通話チャンネルを合わせる

- ① [CH/設定] を短く押して編集モードにします。
 ※編集モード時は、「」が消灯します。
 何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。
- ② [▼]/[▲] を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
 ●選択範囲：01～14、16～82、S1～S15*
 ★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。
 必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.24)



通話チャンネル表示
(表示例：CH05)

2.秘話表示にする

- [機能/] を押して、「秘話 OFF」(初期設定時)を選択します。
- [機能/] を押すごとに、「UC OFF」→「秘話 OFF」→「通話チャンネル」の順に切り替わります。
- ※何も操作していない状態が約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。



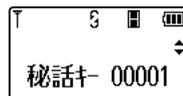
3.秘話機能をONにする

- ① [CH/設定] を短く押して編集モードにします。
 ※編集モード時は、「」が消灯します。
 何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。
- ② [▼]/[▲] を押して、「秘話 ON」表示に切り替えます。
 ●「」が点灯します。
 ※「秘話 ON」の場合、自分の音声は、秘話キーが異なる他局には聞こえ(傍受され)ません。



4.秘話キーを設定する

- ① 編集モードの状態です[CH/設定] を長く(約1秒)押しします。
 ●秘話キーを表示します。
- ② [▼]/[▲] を押して、通話する相手と同じ秘話キー(5桁)を設定します。
 ●選択範囲：00001～32767



3 操作方法【応用編】

【編集できる桁を変更するには】

① 秘話キーが表示されている状態で、[CH/設定]を長く(約1秒)押します。

●編集できる桁が点滅します。

※[CH/設定]を短く押すごとに、編集できる桁が移動します。

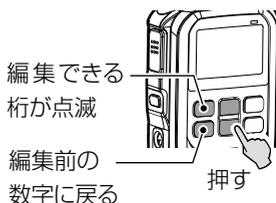
② [▼]/[▲]を押して、秘話キーを選択します。

※[プログラム]を押すと、編集前の数字に戻ります。

③ 内容を確認するときは、[機能/]を短く押す、または[CH/設定]を長く(約1秒)押します。

●「秘話 ON」を表示します。

※約10秒後、通話チャンネル表示に切り替わります。



5.自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

●[PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。

6.相手の音声を受信する

[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ秘話キーの相手局の音声聞こえます。また、秘話機能を使用しない他局が送信しても同様に相手局の音声聞こえます。

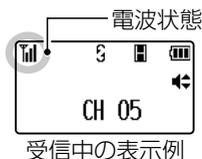
受信中は、[状態表示]ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態(P.8)を表示します。

待ち受け状態のときは、[状態表示]ランプが消灯しています。

【受信中の表示例】

秘話キーが異なる誰かの電波を受信しているときも、[状態表示]ランプが緑色に点灯し、電波状態を表示します。

※他局が自分と異なる秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。



ご注意

機密性を要する重要な通話に本製品をご使用になることは、おすすめできません。

また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

■ロック機能

不用意に無線機のキーに触れたりしても、設定や表示が変わらないようにする機能です。

[機能/

● 「ピピッ」と鳴って、が表示されます。

※ 同じ操作をすると、解除できます。

〈ロック中にできる操作〉

◎ ロック機能の解除

◎ 送信/受信の切り替え

◎ モニター機能のON/OFF

◎ 電源のON/OFFと音量調整★

★ 音量調整がロックされるように、設定モード(P.24)で変更できます。

※ [プログラム]の長押し動作に「エマージェンシー」が割り当てられている場合は、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。



■送信出力の切り替え

[CH/設定]を長く(約1秒)押すごとに、「送信出力 2W」/「送信出力 1W」/「送信出力 0.5W」を切り替えできます。

※ 切り替えができるのは「」が点灯しているときだけです。

※ 上空用チャンネル選択時は、送信出力を2Wに設定できません。

◎ 2W(High)は「」、1W(Middle)は「」、0.5W(Low)は「」を表示します。

◎ 通話相手との距離に応じて、0.5Wや1Wに切り替えると、消費電力を節約できます。

送信出力表示



■VOX機能の使いかた

本製品は[PTT]を押さずに、無線機本体のマイク、またはBluetooth機器(VS-3)からの音声によって送受信を自動的に切り替えるVOX機能を搭載しています。

◎VOX機能の設定のしかた

設定モードで、VOX機能の設定(P.22)を「内部」、「外部」、または「Bluetooth」★に変更してください。

◎VOX感度の設定のしかた

最適なVOXの感度に設定します。

①設定モードで、VOX感度の設定を選択します。(P.22)

②通話するときと同じ大きさの声を出しながら、[▼]/[▲]を押して、VOX感度を設定します。

● 声を出しているあいだ、継続して[状態表示]ランプが赤色に点灯する感度に設定してください。

※ [状態表示]ランプが赤色に点灯するだけで、送信はしません。

③[PTT]を押して、設定モードを解除します。

★Bluetooth搭載版のみ

4 そのほかの機能について

◎VOXディレイの設定のしかた

送信停止までの遅延時間を設定します。

- ①設定モードで、VOXディレイの設定を選択します。(P.22)
- ②[▼]/[▲]を押して、VOXディレイを設定します。
- ③[PTT]を押して、設定モードを解除します。

■録音機能

通話、および不在時に受信した音声を録音できます。

録音された最新の内容(最大5分の録音)は、録音履歴を消去するまで、保持されます。

5分を超えた内容は、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。

※工場出荷時や全設定初期化時、設定されていません。

必要に応じて、設定モード(P.23)で設定してください。

※本製品の録音データは、取り出せません。

【録音機能をご利用時のご注意】

処理が完了する前にバッテリーパックを取りはずした場合、録音データが消えることがありますのでご注意ください。

1.呼び出しを受ける(録音開始)

音声スピーカーから聞こえると、自動で録音が始まります。

※録音一時停止中は、自動で録音されません。

- [状態表示]ランプが緑色に点灯すると同時に、「」が点滅します。

※自局から音声を送信した場合でも、自動で録音を開始します。



自局宛の呼び出しを受信したときの表示例

2.応答する(録音継続)

①[状態表示]ランプが消灯し、待ち受け状態になります。

- 「」は、点滅をつづけます。

②[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に応答します。

- [状態表示]ランプが赤色に点灯します。

「」は、点滅をつづけます。

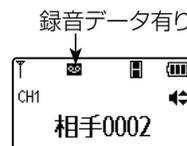


自局宛の呼び出しに回答したときの表示例

3.終話する(録音終了)

通話が終わったら、[PTT]をはなします。

- [状態表示]ランプが消灯します。その後、何も操作しない状態から秒つづくと、「」が消灯し、「」が表示されます。

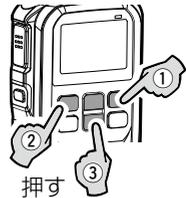


終話したときの表示例

【録音した音声を再生するには】

- ①右図のように、録音履歴が表示されるまで、[機能/ (発信)/ (着信)/ (不在)」から順に最新の履歴となるように記録されています。
※最新の履歴のみ、録音終了後からの経過時間が表示されます。
- ④編集モードの状態では[CH/設定]を長く(約1秒)押しします。
●「再生中」が表示されます。

一件目録音履歴

**【録音/再生機能の動作について】**

- ◎送信したとき、および自局宛での信号を受信したときに、自動で録音を開始します。
- ◎ユーザーコードや個別番号が一致しない場合など、音声が出力されない通信は、録音されません。
そのとき、再生中の場合は、再生をつづけます。
- ◎終話するまでの通話を1件として録音します。
録音を一時停止すると、送信中や受信中に再開しても、別の1件として録音されます。
- ◎録音時間の合計が5分を超えた場合には、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。
録音件数は、録音時間の合計が5分以内であれば、最大30件です。
- ◎再生中に自局宛の呼び出しを受信した場合は、再生が停止されると同時に受信音声が出力され、録音を開始します。
- ◎緊急呼び出しを送信、または受信したとき、警告音が「ピピピ…」と鳴っているあいだは、「**■サブチャンネルPTT機能**

[サイド]の操作により、最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

※ サブチャンネル2は、設定したチャンネルに応答する場合だけ送信できます。

※ サブチャンネルPTT機能を設定時、設定できない機能や[サイド]/[プログラム]に割り当てて使用できない機能があります。

■ワンタッチアンサー機能

あらかじめ録音した音声を、[サイド]/[プログラム]の操作により、送信する機能です。

詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

4 そのほかの機能について

■Bluetooth[®]の使いかた (Bluetooth搭載版のみ)

◎本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。

※この機能は、設定モードでの設定が必要です。

◎Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。

◎本製品は、最大7台までのBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。

◎VS-3(Bluetooth[®]ヘッドセット)

本製品と別売品のVS-3をBluetoothで接続することで、VS-3から送受信の操作ができます。

【ペアリングのしかた】

ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

◎複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。

このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。

◎電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体側のスピーカーから音が出るように切り替わります。

無線機本体側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

1.VS-3をペアリングモードにする

①LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、VS-3の[電源] ボタンを長く(約6秒)押します。

②「ピパ★」と音がして、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。

※はじめてVS-3をご使用になる場合は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。

※ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。

★VS-3に接続しているイヤホンから音が鳴ります。



[電源]ボタン

LEDランプ

2. Bluetooth機能をONにする

- ① 本製品の電源を切った状態で、[機能/- ② 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/- 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。
- ③ [CH/設定]、または[機能/- ④ [- ⑤ 設定モードのまま、次の手順「3.IC-DPR4からVS-3をペアリングする」を操作します。

3.IC-DPR4からVS-3をペアリングする

- ① [機能/



- ② [サイド]を押して、接続する機器を検索します。

- 「検索中」が表示されます。
- 「検索成功」が表示され、1秒後に検索結果を表示します。
- ※ 「検索失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、検索してください。



- ③ []/[



- ④ [サイド]を押して、機器と接続します。

- 「ペアリング中」、「接続中」、「接続完了」の順に表示されます。
- ※ 「ペアリング失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、手順③から操作してください。



- ⑤ [PTT]を押します。

- 設定モードが解除され、待受画面に戻ります。



4 そのほかの機能について

【ペアリング後の動作について】

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。
下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- ◎無線機のBluetooth機能が「ON」
- ◎無線機が待ち受け状態
- ◎Bluetooth機器の電源が「ON」
- ◎「ペアリングリスト」(P.26)にBluetooth機器が登録されている

※ 接続中は「」が点滅します。

接続が完了すると「」が点灯します。

※ 「ペアリングリスト」からも接続できます。

※ 2025年2月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。

ご注意

◎ 本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

またBluetooth標準規格に適合していても、機器の仕様や設定により、本製品と接続できないことがあり、すべての動作を保証するものではありません。

◎ Bluetoothの通信においては、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけ、障害物がない状態にしてください。

電子レンジや無線LAN、ほかのBluetooth機器による電波干渉がある場合は、それらの位置を変更するか、必要に応じて一時的に使用を中止してください。

■設定モードに移行するには

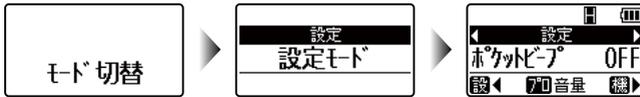
【操作のしかた】

① 本製品の電源を切った状態で、[機能/]を押しながら「モード切替」が表示されるまで[]を押します。

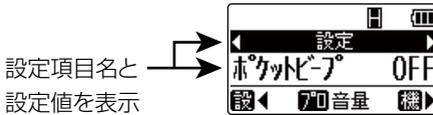
※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。

② 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/]を押します。

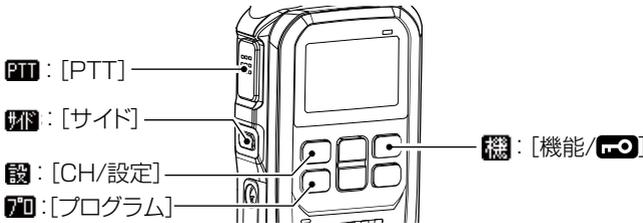
● 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。



■画面下部の表示と実行



設定モード時、画面下部には、対応するキーに割り当てられている操作が表示されます。操作するときは、下図のように対応するキーを押します。



※そのほかのアイコンについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

5 各種機能の設定

■設定のしかた

設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

- ① [CH/設定]、または[機能/- ② 目的の項目名で、[▼]/[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
 - ※ほかの機能も変更するときは、①と②の操作を繰り返します。
- ③ [PTT]を押します。
 - 選択した設定値を確定し、設定モードが解除されます。
 - ※別売品を接続しているときは、その製品の [PTT] を押します。
 - ※設定値を変更後に、電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
 - ※設定モードを解除するまで通話できません。

■設定モードの音量調整について

設定モードに移行後、下記の手順で音量を調整できます。

※ 設定値の編集、動作中などは、音量を変更できません。

【操作のしかた】

- ① [プログラム]を短く押します。
- ② [▼]/[▲]を押します。
 - 音量を調節します。
- ③ [プログラム]を短く押します。
 - 設定した音量を確定し、設定モードに戻ります。



■設定項目一覧

★Bluetooth搭載版のみ

項目名	説明	初期値
ポケットビープ	ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたとき、呼び出し音のパターンを設定します。 ※「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	OFF
ポケットビープ-メロディー	ポケットビープ着信時のメロディー音を設定します。 ※「ポケットビープ」を「メロディ」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	1
送信ビープ	[PTT]を押したときのビープ音を設定します。 ※「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	ON
終話ビープ	通話相手の終話信号を受信したとき、ビープ音で通知する機能です。	ON
ビープ音量	ポケットビープやキー操作などの音量を設定します。	連動

項目名	説明	初期値
ビープ音量- 固定時レベル	「ビープ音量」を「固定」に設定したときのポケットビープやキー操作などの音量を設定します。 ※「ビープ音量」を「固定」に設定したとき表示されます。	15
ユーザーコード	通話チャンネル共通のユーザーコードを使用するか、通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用するかを設定します。	共通
秘話	通話チャンネル共通の秘話キーを使用するか、通話チャンネルごとに異なる秘話キーを使用するかを設定します。	共通
音声案内	通話チャンネル番号を読み上げる機能を設定します。	OFF
マイクゲイン	マイク感度を設定します。	0
VOX	VOX機能を設定します。 「内部」、「外部」、または「Bluetooth」*に設定すると、マイクに向かって呼びかけるだけで、送信できます。 ※「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	OFF
VOX-VOX感度	VOXの感度を設定します。 ※「VOX」が「OFF」のときは、表示されません。	3
VOX-VOXディレイ	VOX使用時、送信停止までの遅延時間を設定します。 ※「VOX」が「OFF」のときは、表示されません。	1.5秒
個別呼出	同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。	OFF
個別呼出-自局番号	個別呼び出しを受けるための自局番号を設定します。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。	0001
個別呼出- 相手局表示	個別呼び出しする相手局の番号を表示する機能です。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。	ON
個別呼出- グループ表示	グループ呼び出しするグループ番号を表示する機能です。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。	OFF
リスト-グループ	着信を許可するグループ番号を設定します。 [サイド]を押すと、 <input checked="" type="checkbox"/> が点灯します。 ※ <input checked="" type="checkbox"/> が点灯しているグループ番号からの呼び出しに応答できます。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。	01
個別呼出-着歴表示	個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号やグループ番号を着信履歴として表示する設定です。 ※「個別呼出」を「ON」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	OFF
個別呼出-終話表示	通話を終了後、待ち受け状態での表示内容を設定します。 ※「個別呼出」を「ON」に設定したとき表示されます。	話前
個別呼出-着歴消去	自局番号やグループ番号の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。 ※「個別呼出」を「ON」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	—— (OFF)

5 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

項目名	説明	初期値
ローンワーカー	本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。	OFF
録音再生	自局宛の通話を録音する機能を設定します。 ※「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	OFF
録音再生-録音消去	録音した音声の履歴を消去します。 ※「録音再生」を「ON」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	---- (OFF)
プライベートCH	よく利用する通話チャンネルとの切り替え機能を設定します。	ON
プライベートCH-CH	特定の通話チャンネルをプライベートチャンネルに設定します。 ※「設定プログラムキー-短押」で「プライベート」に設定した場合、[プログラム]を短く押すと、設定した通話チャンネルに切り替わります。 ※「プライベートCH」を「ON」に設定したとき表示されます。	呼出
設定サイドキー-短押	[サイド]を短く、または長く(約1秒)押したときに動作する機能を設定します。	OFF
設定サイドキー-長押		
設定プログラムキー-短押	[プログラム]を短く、または長く(約1秒)押したときに動作する機能を設定します。	OFF
設定プログラムキー-長押		
スキャン	スキャンタイプを設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「スキャン」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	プライベート
スキャン-CH	スキャンするメモリーチャンネルを設定します。 [サイド]を押すと、スキャンするチャンネルを指定(点灯:MC)します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「スキャン」、「スキャン」を「メモリー-CH」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	01
スキャン-停止時間	電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、メモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「スキャン」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	10秒
スキャン-再開時間	スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「スキャン」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	5秒

項目名	説明	初期値
スキャン-終話動作	スキャン中、[PTT]を操作したときのスキャン動作を設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「スキャン」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	解除
スキャン-一時スキップ	スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する時間を設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「一時スキップ」、「スキャン」を「メモリーCH」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	5分
ワンタッチアンサー	ワンタッチアンサー機能で送信する音声の録音(最大10秒)、再生、消去をします。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「ワンタッチアンサー」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	--- (OFF)
一時音量	周囲の会話を聞きたいとき、または通話相手の音声が小さいときなどに、瞬時に音量を上げる、または下げるレベルを設定します。 ※「設定サイドキー」、または「設定プログラムキー」を「一時音量」に設定したとき表示されます。	-5
パワーセーブ	電池の消耗を抑えるためのパワーセーブ機能を設定します。 ※「個別呼出」を「OFF」、かつ「サブチャンネル」を「OFF」に設定したとき表示されます。	OFF
ロック動作	ロック機能動作中の音量調整を設定します。	音量可
オートキーロック	一定時間、スイッチやキーが操作されないとき、それらの操作を自動的にロックします。	OFF
運用チャンネル	通話チャンネル(陸上/上空/陸空)の使用区域を設定します。	陸上
コントラスト	表示部のコントラスト(濃淡)を調整します。	12
バックライト	表示部のバックライト状態を設定します。	AUTO
輝度	表示部のバックライト明るさ(輝度)を設定します。	明るい
ノイズキャンセル	送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させる機能です。	OFF
イヤホン設定	別売品のイヤホン装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力レベルを下げる機能を設定します。 ※別売品のスピーカーマイクロホン使用時は、「イヤホン設定」を「OFF」に変更してください。	ON
自動音量	別売品のイヤホンを使用時に周囲の騒音に合わせて、イヤホンの音量(操作音を除く)を自動的に調整する機能を設定します。 ※「イヤホン設定」を「ON」に設定したとき表示されます。 ※音量を「0」に設定したときは、使用できません。	OFF

5 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

★Bluetooth搭載版のみ

項目名	説明	初期値
設定イコライザー-送信	送信時の音質を変更するときに設定します。	OFF
設定イコライザー-受信	受信時の音質を変更するときに設定します。	OFF
サブチャンネル	サブチャンネルPTT機能を設定します。 ※下記項目を「OFF」に設定したとき表示されます。 「ポケットビープ」、「VOX」、「個別呼出-着歴表示」、「録音再生」、「パワーセーブ」	OFF
サブチャンネル-サブ1	サブチャンネル1に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	CH01
サブチャンネル-サブ2	サブチャンネル2に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。 ※「サブチャンネル 操作-メインPTT」が「固定」に設定しているとき、サブチャンネル2は、設定したチャンネルからの受信専用になります。 ※「サブチャンネル」を「サブ1+2」に設定したとき表示されます。	CH02
サブチャンネル 操作-メインPTT	サブチャンネルで受信時、[PTT]でも応答できるかを設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	固定
サブチャンネル 操作-サブPTT	サブチャンネルで送信するときの操作について設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	短押
サブチャンネル 操作-VS-3対応*	VS-3(別売品)の[▶▶▶] (早送り:[サイド]に対応)を押して、サブチャンネルで送信するかどうかを設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	OFF
サブチャンネル ビープ-メインCH	無線機に現在表示されているメモリーチャンネル、またはサブチャンネル1/2で送受信したときのビープ音を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。 ※「サブチャンネル ビープ-サブ2」は、「サブチャンネル」が「サブ1+2」に設定したとき表示されます。	OFF
サブチャンネル ビープ-サブ1		
サブチャンネル ビープ-サブ2		
サブチャンネル スキャン-送信後	送信後、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	終話
サブチャンネル スキャン-受信後	受信信号がなくなってから、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	終話
サブチャンネル スキャン-操作後	チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルスキャンを再開するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	10秒
サブチャンネル タイマー-メイン⇒サブ1	メインチャンネルを受信中、サブチャンネル1の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	OFF
サブチャンネル タイマー-サブ1⇒メイン	サブチャンネル1を受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「有効」に設定したとき表示されます。	OFF

項目名	説明	初期値
サブチャンネル タイマー- メイン⇒サブ2	メインチャンネルを受信中、サブチャンネル2の監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「サブ1+2」に設定したとき表示されます。	OFF
サブチャンネル タイマー- サブ2⇒メイン	サブチャンネル2を受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。 ※「サブチャンネル」を「サブ1+2」に設定したとき表示されます。	OFF
Bluetooth*	Bluetooth機能を設定します。	OFF
Bluetoothデバイス- 検索*	周囲のBluetooth機能対応機器を検索します。 [サイド]を押すと検索します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	____ (OFF)
ペアリングリスト*	過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、接続します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	機器なし
登録解除*	過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、リストの登録を解除します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	機器なし
Bluetooth-音量*	Bluetooth接続時の音量を無線機本体の音量と連動させるか、固定値にするかを設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	連動
Bluetooth-音声VOL*	「Bluetooth 音量」を「固定」に設定しているときに、適用される値を設定します。 ※「Bluetooth 音量」を「固定」に設定したとき表示されます。	32
Bluetooth- パワーセーブ*	接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	OFF
Bluetooth- ワンタッチPTT*	VS-3の[PTT]ボタンを短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	OFF
Bluetooth- PTT&MIC*	Bluetooth接続時、[PTT]を有効にする機器を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	HS+OP
Bluetooth-AF切替*	Bluetooth接続時の受信音の出力先を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	HS
Bluetooth- マイクLVオフセット*	Bluetoothマイクロホンの感度を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	0
Bluetooth- AF LVオフセット*	Bluetooth機器の音量を設定します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	8
Bluetooth-初期化*	Bluetoothの全設定を初期化します。 ※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき表示されます。	NO
リセット	すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。	NO

■日常のお手入れと点検について

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
また、バッテリーカバーを取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎ 無線機本体、バッテリーパックの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎ 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
また、バッテリーパックなどがしっかりと装着されているか点検してください。
- ◎ 定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
- ◎ 音量が最小に調整されていないか、[▲]を押して、表示部の音量レベルを確認してください。

■初期状態に戻す(リセットする)には

静電気などによる外部要因で本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットをしてください。

【操作のしかた】

- ① 本製品の電源を切った状態で、[機能/※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。
- ② 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/● 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。
- ③ [CH/設定]を1回押します。
● 「リセット NO」を表示します。
- ④ [▲]を押して、「リセット YES」表示を選択します。
- ⑤ [PTT]を短く押します。
● 一時的に電源が切れ、初期状態になります。

ご注意

初期化操作をするときは、バッテリーパックの残量表示が (十分)の状態でおこなってください。

なお、設定値がリセットされ再起動するまでの2秒間は、無線機の電源を切らないでください。

※ リセットの途中で電源が切れると、故障の原因になることがあります。

■故障かな？と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.30)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	バッテリーパックの接触不良	バッテリーパックの端子を清掃する	—
	バッテリーパックの消耗	バッテリーパックを充電する	—
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に設定されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.2
送信できない (ブププ・・・が鳴る)	5分間の送信時間制限が過ぎているとき	1分以上待ってから、もう一度送信する	P.9
	ほかの無線機が送信しているため、混信防止機能が動作している	[状態表示]ランプ(緑色)が消灯してから送信する	P.9
通話できない	通話チャンネルが合っていない	相手と同じ通話チャンネルに合わせる	P.8
	ユーザーコードの設定が正しくない	相手と同じユーザーコードを設定する	P.10
	相手が秘話機能を使用していない、または自分と秘話キーの設定が異なる	相手の秘話機能と秘話キーの設定を確認する	P.12
	自分が秘話機能を使用していない		
	相手局番号、またはグループ番号を間違えている	相手局番号、またはグループ番号を確認する	—
相手から応答がない	相手との距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	P.9
通話チャンネル選択と送信出力切り替え以外の操作ができない	呼出用チャンネル(呼出CH)を設定している	通話チャンネルに変更する	P.8
キー操作ができない	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.14
受信音が聞こえない	秘話機能を使用していない	秘話機能と秘話キーの設定を確認する	P.12
	ユーザーコードを設定している	相手のユーザーコードの設定を確認する	P.10

6 ご参考に

■故障かな？と思ったら(つづき)

現象	原因	処置	参照
充電が完了しない	音声を受信、または送信しながら充電している	必要のないときは無線機の電源を切った状態で充電する	P.3
	キー操作音や録音再生など音を出しながら充電している		
充電中に、[状態表示]ランプが赤色と青色を交互に点灯している	バッテリーパックが正しく差し込まれていない	無線機に正しく差し込まれていることを確認する	P.3
	0℃～45℃以外の環境で充電している	0℃～45℃の環境で充電する	P.3
	各端子(充電端子や電源端子)の接触不良	ゴミやホコリが各端子に付着していないことを確認する	
充電しない	充電クレードルの保護装置が動作している	ACアダプターを抜き差しする	P.3
	バッテリーパックが満充電に近い状態になっている		
ペアリングできない*	ペアリングモードになっていない	ペアリングモードにする	P.17
	周辺にBluetooth対応機器が複数稼働している	ほかのBluetooth対応機器を停止させる	—
		ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する	—
周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなす	—	

★Bluetooth搭載版のみ

※ バッテリーパックを充電しなおしても電源が入らない場合や運用時間が短い場合は、バッテリーパックの故障、または寿命です。(P.6)

お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.28)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

電子メール: support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ: <https://www.icom.co.jp/>

さくいん

B
Bluetooth 17、26

U
UC(ユーザーコード) 10

V
VOX 22
VOX機能 14

い
イコライザー 25

う
運用チャンネル 24

お
オートキーロック 24
音声案内 22
音量調節 2

か
海水が付着したとき vii
簡単ご利用ガイド ii

き
距離(通話範囲) 9

こ
故障 28、30
個別呼び出し 10
個別呼出 22
混信防止(キャリアセンス)機能 9

さ
サイドキー 23
サブチャンネル 25
サブチャンネルPTT機能 16
残量警告音 4
残量表示 4

し
充電 3、5
充電時間 5
使用時間 5

す
スキャン 23

せ
設定モード 20

そ
送信時間制限 9
送信出力 14

つ
通信範囲(Bluetooth) 17
通話範囲(無線機本体) 9

て
電源 2
電波干渉 9
電波法 vi
電波利用料 vi

と
特性と寿命について 6

の
ノイズキャンセル 24
納入告知書 vi
納付 vi

は

バックライト…………… 24
 バッテリーパック…………… 1
 パワーセーブ…………… 24
 パワーセーブ機能…………… 9

ひ

秘話…………… 12、22
 秘話キー…………… 12
 秘話機能…………… 10

ふ

付属品…………… v
 付属品の取り付けかた…………… 1
 プログラムキー…………… 23

へ

ペアリング…………… 17
 ベルトクリップ…………… 1

ほ

防塵性能…………… vii
 防水性能…………… vii
 膨張について…………… 6
 ポケットビープ…………… 21
 保護カバー…………… 2

ま

マイク…………… 8
 マイクゲイン…………… 22

ゆ

ユーザーコード…………… 10

よ

呼出CH …………… ii、8、28

り

リセット…………… 26、27

ろ

ローンワーカー…………… 23
 録音機能…………… 15
 ロック機能…………… 14

わ

ワンタッチアンサー機能…………… 16

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～